



<大雪といち早い春の訪れ>

思いがけずの大雪に大わらわの2月6日の朝、会社の玄関と駐車場の雪かきは例にもれず、早朝6時から辛抱強く事務長が励みました。Oスタッフはいつもより早く出勤、Sスタッフも加わり雪かき。なんとお隣の事務所の女性の方もたんぽぽの前の道の除雪のお手伝いを頂きました。



ご利用者の皆様方には普段より1時間弱遅れますと電話でお願いをしながら、訪問看護の出発とかんたきの送迎が始まりました。

1年に一度程度のこうしたハプニングがありますが、今年も事故もトラブルもなく無事に過ごすことが出来ました。こうした時のスタッフの応援やお隣さんのご協力と優しい言葉がけは妙に嬉しくて連帯感の心で満たされました。そして、こんな時も来て下さるご利用者様の笑顔に励まされました。

この日の昼食メニューは変更して、煮込みうどんとカレーライス、甘酒は好評で、残食はゼロでした！。その日の午後にもう一つ感激したことは、お隣の庭から路上に身を乗り出して歩く人に話かけるように紅白の梅の花と水仙の花が香り豊かに満開の姿で、一早く春の訪れを知らせています。

<音楽を柱にしたかんたきの運営で思うこと>



2月10日に1年ぶりに、地域の和太鼓の会（小原万里子さん主宰）の4人の方に来て頂きました。

荒馬踊りや南京玉すだれ等、せまい会場一杯を駆け巡り、歌と踊りを太鼓と笛とお囃子の金の音にのり、笑い拍手で湧きました。歌いに出て踊り出す人も出て大きな喝采が出ました。実は、武蔵野で働く保母さん方が主なので、私も社員達の子もお世話になった保母さん方です。今後もっと多くお願いしたく思います。

最近亡くなられた世界的な指揮者の小沢征爾さんはかつて、「音楽は、言葉も国も宗教も政治も超えて、人と人の心を繋げることができる。音楽を通して、僕らは、同じ星に住む、同じ人間であることを感じて、皆でひとつになれることを願っています」と某コンサートでメッセージを発信されたことは有名です。

音楽は私たちのところを豊かにしてくれます。混沌とした現代社会ですが、音楽のある暮らしを大事にしていきましょう。

<感染防止にご協力下さい！>

インフルエンザ感染が広がっています。コロナウィルスも見えにくいところで形を変えて続いています。手指の消毒と体温測定、マスク利用で感染を防止しましょう。

ショートステイ利用者へのご家族の面会は、上記のご協力と短時間（15分程度）でお願いします。

2024年2月15日

有限会社多摩たんぽぽ介護サービスセンター

取締役 千葉信子